

2022 年 (令和 4 年) 1 月 29 日 (土) NO 166 号

K-PURO NEWS

【 事 業 所 】

◆	商 号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆	屋 号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本 社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【 業 務 内 容 】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効適切な位置へ設置

メンテナンス 消防設備点検・工事から AED 幹旋のメンテナンス業務

【 加 盟 団 体 】



RID2770 川口モーニングロータリークラブ <http://kawaguchi-morning.jp/>



NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>



公益社団法人 千葉東法人会 <http://www.chibahojin.jp/>



一般社団法人 千葉市中央区倫理法人会 <http://www.rinri-chiba.org/>



公益財団法人 モラロジー研究所 <http://www.morality.jp/>

【 応 援 団 体 企 業 】



我が国一の歴史と実績 since 1957

公益財団法人 アイメイト協会



今月の言葉

当たり前を見つめ直す



私たちは自分一人の力で生きているわけではありません。

そもそも自分が今、ここに存在するということ自体、親先祖や社会の人々、そして大自然を含めた多くのものの「おかげ」であるのです。

その数限りない恩恵を自覚したとき、「ありがたい」という思いが湧き起こるのではないでしょう。

毎日の食事にしても、その背後にはどれほどの「おかげ」が存在するのでしょうか。

自分が何をするにも、背後には必ず「おかげ」があることを思い、日ごろ「当たり前」になっている物事の一つ一つを見つめ直していきたいものです。

今月の良い話

ビッグボス・新庄の素直さ



北海道日本ハムファイターズに「ビッグボス」こと、新庄剛志監督が就任しました。

新庄と同じチームになったのは、私がファイターズで1軍ヘッドコーチをしていた2004年のことです。彼が米国のメジャーから移籍してくるという一報が入ったとき、コーチ室は騒然としました。

一番多かったのは「扱いづらそうだな」という声でした。

私は選手を「扱う」ことなんてできないという信念があったので、みんなに言いました。

「新庄を扱うことができるのは猛獣使いくらいだよ。でも、そもそも選手を扱う必要があるの。まして新庄だよ。チームとしてやるべきことは守ってもらうけれど、それ以外は彼が力を発揮できるよう、僕らが協力するほうが大事なんじゃないですか」

新庄にも「やりたいことを全部やっていいぞ」と話すと、笑いながら「打撃も守備も若い選手の手本となるように頑張ります。手を抜かず、全力で一塁まで走ります」。

その言葉通り、開幕からチームをリードしてくれました。

でも当初、打撃の調子が上がらなかった。

ある日「右手の握力が強過ぎるのか、打つ瞬間にこねてしまうんです」と相談されました。

「それならアッパースイングを試したらどうだい。キャッチャーフライを打つくらいの気持ちでアッパーに打てば、右手の強さが生きるかもよ」。

翌日。打撃練習が始まると新庄はキャッチャーフライをバンバン打ちまくった。

「キャッチャーフライを打つくらいアッパースイングで」と教えても、

普通は「打つくらいの気持ち」でとどめますが、新庄は違いました。

「白井さん、これでいいんですよね!」「・・・うん、そんな感じだ」。

周りにいたコーチや選手は固まっていたましたが、新庄はその日の試合で3本ヒットを打ち、それを境に復調していきました。

教えたことを驚くくらい素直に実践する。その素直さがすごい。

以来、二人で夕食を共にしながら、彼の相談に何度か乗りました。

野球界では、先輩が同席した後輩の分まで食事代を払うのが習慣です。

当時、新庄の年棒の10分の1ももらっていないけれど、いつも私が払いました。

すると新庄は、お店の人がいる前で「白井さん、ご馳走になります!」と大声で頭を下げて行ってくれました。私のことを立ててくれるんです。

そして後日、食事代の倍くらいする高いワインを私に贈ってきてくれました。

「自分から誘って、自分の相談に乗ってもらっているから当然です。白井さん、ワイン好きでしょ」。「やめてくれよ」と何度言っても、毎回欠かさずに贈ってくる。

そういう気遣いができる男です。

そんな彼がどんな采配をファンに見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

////////////////////////////////////

白井 一幸（元日ハム二軍監督）

記事提供 日経トップリーダー

今月の良い話

魂を美しく磨き上げる

私は、死とは肉体の死ではあっても、魂の死ではないと思っています。
私の死というのは、私の魂が新しい旅立ちをしていくめでたい日だと思うのです。
死は悲しいことではなくて、魂が新しい旅立ちをしていく嬉しい日なのです。
魂の新しい旅立ちに際して、私の魂に新しい装いをつけ、そして明るくあの世へ旅立っていく。
そういうものにするために魂を美しく磨く必要があるのだと思った瞬間、私は、これこそが人生を生きる意味なのではないかと悟りました。

.....

会社を成功させて有名になったり、お金持ちになったり、そんなことのために人生があるのではない。
人生を生きる意味とは、まさに自分の魂を磨くことにある。
死ぬ時に、生まれた時に持ってきた魂より少しでも美しい魂にして、新しい魂の旅立ちを迎えるためにある。
このことが人生を生きてきた価値なのではないか、また目的ではないのかと気がついたのです。



.....

この美しい魂にするとは、分かりやすく言えば、善き思いを心に抱き、善きことを実行していくことになります。
魂を磨くためには、毎日毎日、そうありたいと思って自分が謙虚に反省し、自分自身を変えていく努力をしなければいけません。
知識として知っていただけでは、決して魂は磨けません。

.....

美しい思いやりに満ちた素晴らしい魂にしていこうと思えば、毎日毎日、自分にそう言い聞かせながら、
「きょうの自分の思い、きょうの自分の行動は、果たしておまえが言う善きことに基づいていたか」
と自分自身に問い詰めながら、自分の思いと行動を毎日のように修正をしていかななくてはいけないのではないと思うのです。

////////////////////////////////////

稲盛 和夫（実業家）

65 歳以上の高齢者は、2040 年には全体の 3 分の 1 を占める――。
総務省が 2019 年に発表した数字です。
平均寿命は男性 81.25 歳、女性 87.32 歳という中で、定年後の過ごし方が問われています。
稲盛和夫氏はかねてより、いずれ訪れる“新しい旅立ち”に備え、
「魂を美しく磨き上げる」ことを説いてきました。
これは今後どんなに時代が変わっても、人生を豊かにしてくれる習慣の一つと言えるでしょう。

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO166

拡大自殺（かくだいじさつ）

拡大自殺（英:extended suicide）とは何かについて、未だ一致した見解には至っていないが、

a) 自分とは無関係である者を殺害した後に自殺した場合

b) 嫉妬妄想の対象を殺して自殺した場合

c) 愛し合う相手を殺して自殺した場合

d) 自分が死んだら家族が生きていけないと考えて家族を殺した後、自殺した場合

など、さまざまなケースが拡大自殺と呼ばれる。いずれも自殺が未遂となる場合もある。

拡大自殺の定義として、

1) 本人の死の意志

2) 1名以上の他者を相手の同意なく自殺行為に巻き込むこと

3) 犯罪と、他殺の結果でない自殺とが同時に行われること

4) 自己中心的な動機でなく、利他的な、あるいは偽利他的な動機から犠牲者を道連れにしようとしていること

5) 犯罪の結果について熟慮せずに自発的に行われていること

という基準が提案されている。

ウィキペディアより抜粋

プロ太の小話集

NO166

『 ネタ 』

店主 「ヘイらっしゃい・・何握りやしょ！」

常連 「じゃあそうだな～、弱みを頼むよ。」

店主 「こないだ社員さんには一人出張って言って、一緒に温泉に行かれた女性はどなたで？」

常連 「おっ、さすが大将・・ネタが新鮮！」

店主 「寝かせたやつもありますよ・・。」

常連 「どんな？」

店主 「ここに旦那が高校生の時に彼女に送った自作曲を録音したカセットテープがね・・」

常連 「待て・・」



//////////
今月の表紙の花 : ラナンキュラス「とても魅力的」

25人が死亡した大阪の精神科クリニックでの放火殺人事件は大変な衝撃を受けました。

この事件については予防する方法が思いつきません。一人で自殺することはせず、他人を巻き込んで自殺を試みる行為を「拡大自殺」と言います。京王急行線でのジョーカー無差別殺傷事件も18人が重軽傷を負っています。捕まることや厳罰も何も恐れず無差別事件を行うこれらの輩を一部警察では「無敵の輩」と呼ぶそうです。もしもこのような輩と出くわしてしまった場合、即刻その場から逃げた方が無難でしょう。しかしどうでしょう？実際にその場に居合わせなければ判断が難しいのですが、このケースでは、20～50代の男性数人で力を併せ、その輩を取り押さえることはできなかったのでしょうか？皆で勇気を持って犯罪抑制に力を合わせる。これらの行為は危険を伴いますがとても魅力的な行動だと思います。このような勇気ある行動が拡散すれば類似した犯罪も減少すると思いますがいかがでしょうか。

注：プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です （体長10メートル・体重1トン・無敵無敗）